

【政治】

24 日：大連市党委常務委員会議開催

24 日、唐軍大連市党委書記主宰による市党委常務委員会議が開催された。会議は遼寧省「両学一做」学習教育工作会議の精神を伝え、関連の方案を審議・採択した（当事務所注：「両学一做」は、党のルールを学び、習近平総書記の重要講話の精神を学び、模範黨員となることを目指そうという政治スローガン）。（25 日付大連日報 1 面）

25 日：遼寧省政協の夏徳仁主席、大連市の「簡政放権」政策の進捗状況を視察

25 日、遼寧省政協の夏徳仁主席は遼寧省政協常務委員らを帯同し大連市各地を訪れ、市の「簡政放権」政策の進捗状況を視察した（当事務所注：「簡政放権」とは、企業の活性化・経営コスト削減のため、企業の経営自主権の拡大を図る経済政策のこと）。（26 日付半島晨报 A13 面）

25 日：大連市党委、「五大発展理念」に関するグループ学習を実施

25 日、大連市党委員会は 2016 年度第 2 回目となるグループ学習を行い、「イノベーション、協調調整、グリーン（環境）、開放、共に享受」の五大発展理念について学習した。唐軍大連市党委書記が学習会を主宰し講話を行い、国務院発展研究中心党組メンバーの余斌が五大発展理念及び中国マクロ経済の趨勢に関する報告を行った。（26 日付半島晨报 A13 面）

市幹部の人事異動発表

●遼寧省党委員会の決定

- ・張亜東の大連副市長としての職務を解き、大連市党委常務委員に任命。
- ・呉継華を大連市党委常務委員に任命。

●大連市党委員会の決定

- ・董長海の大連市党委統一戦線部長としての職務を解く。
- ・張亜東を大連市党委統一戦線部長に任命し、市政府党組メンバーとしての職務を解く。

（26 日付大連日報 2 面）

大連市法院が 2015 年に受理した知的財産権関連案件は 566 件

大連市中級人民法院が 26 日に発表したところによると、2015 年に大連市内の裁判所が受理した知的財産権関連案件は合計 566 件で、そのうち第 1 審案件は 523 件、第二審案件は 43 件であり、それぞれ前年比で 10.8%、16.2%増加した。（27 日付大連日報 10 面）

26 日：遼寧省で初となる知的財産権案件受理センターが大連にオープン

26 日、「大連市人民検察院知的財産権案件受理センター」及び「大連ハイテクパーク知的財産権保護センター」の開業式典が行われた。当該センターは遼寧省で初めてとなる知的財産権保護センターであり、遼寧省の検察機関で初めてとなる知的財産権案件受理センターとなっている。

（27 日付大連日報 10 面）

27日：大連市紀律検査委員会、典型的腐敗案件 10 件を新聞等で発表

大衆の利益を侵害する不正行為及び腐敗行為に対する取り締まりを強化するため、大連市紀律検査委員会は 27 日、新聞等各メディアを通し、これまでに摘発された 10 案件を典型的な腐敗案件として発表した。(27 日付半島晨报 A02 面)

27日：「党章党规と系列講話を学び合格党员となる」学習教育工作会議開催

27 日、大連市における「両学一做」学習教育の確かな成果を確保するため、「党章党规と系列講話を学習し合格党员となる」学習教育工作会議が開催された。肖盛峰大連市長が会議を主宰し、唐軍大連市党委書記が講話を行った。(28 日付半島晨报 A14 面)

28日：5.1 国際労働節記念表彰大会開催

28 日、大連市は 5 月 1 日の国際労働節（メーデー）を記念し、2014-2015 年度の労働節関連各賞の受賞企業・個人に対する表彰大会を開催した。唐軍大連市党委書記が講話を行い、肖盛峰大連市長ら市幹部が出席した。(29 日付半島晨报 A11 面)

28日：市政府、企業に対する課金・手数料の整理等を議題とする常務会議を開催

28 日、肖盛峰大連市長の主宰により第 15 期大連市政府第 51 回常務会議が開催され、企業に対する課金・手数料項目の整理等の議題を検討・決定した。会議は、国と省の関連政策・規定以外の企業に対する課金や手数料は全て取り消し、徴収基準に下限が定められている項目は全て下限に設定し、国や省の制定した項目でも取り消せるものについては取り消す等の決定をした。(29 日付半島晨报 A11 面)

28日：肖盛峰市長、営業税の増値税への変更政策実施状況を視察

5 月 1 日より中国全土で営業税が増値税（付加価値税）へ変更されることに伴い、肖盛峰大連市長は 28 日に大連市国税局を訪れ、関連政策の準備・実施状況に対する調査研究活動を行った。(29 日付半島晨报 A11 面)

28日：唐軍書記、モンターニュ・在中国フランス大使と会見

28 日、唐軍大連市党委書記はモンターニュ・在中国フランス大使一行と会見を行った。会見上、唐軍書記は大連市とフランスは今後港貿易、設備製造、原子力発電、ハイテクノロジー、観光・文化など幅広い分野で協力していくことが可能であり、双方の企業の交流を促進し、フランスと大連市の協力関係のレベルアップを推進していきたいと述べた。(29 日付半島晨报 A11 面)

29日：大連市紀律検査委員会、「8 つの規定」の典型的違反案件 6 件を発表

29 日、大連市紀律検査委員会は中央の定めた「8 つの規定」（当事務所注：政治家、公務員等の仕事や生活における禁止事項を定めた規定）の精神を貫徹し、厳格な執行を行っていくため、これまで摘発された同規定の典型的な違反案件 6 件を新聞等にて発表した。(29 日付半島晨报 A04 面)

【経済】

22日：肖盛峰市長、恒大グループ董事局の許家印主席と会見

22 日、肖盛峰大連市長は恒大グループ董事局の許家印主席一行と会見し、共に「大連金石灘文化観光産業園プロジェクト」のモデル展示を参観し、今後の協力関係の強化等について意見交換を行った。(23 日付大連日報 1 面)

22日：肖盛峰市長、国網遼寧省電力会社の譚洪恩総経理と会見

22日、肖盛峰大連市長は国網遼寧省電力会社の譚洪恩総経理一行と会見し、協力関係の強化について意見交換を行った。(24日付大連日報1面)

24日～26日：肖盛峰市長、深圳にて投資誘致活動を実施

24日～26日、肖盛峰大連市長は大連市経済貿易代表団を率いて深圳を訪れ、珠江デルタ地区との経済協力交流、投資融資活動を実施した。期間中、同代表団が推進を協議したプロジェクトは87件、投資総額は1,087.63億元にのぼる。(27日付半島晨报A12面)

26日、大連市経済貿易代表団は大連市・珠江デルタ地区経済協力プロジェクト調印式典を開催し、37件の重大協力プロジェクトを締結した。これらのプロジェクトの投資総額は約299億元に及ぶ。(28日付半島晨报A14面)

26日：市経済貿易代表団、深圳にて新エネルギー産業関連の懇談会を開催

26日、大連市経済貿易代表団は深圳にて新エネルギー自動車生産基地建設及びエネルギー蓄積技術の開発・利用に関する懇談会を開催した。懇談会上、肖盛峰大連市長は金普新区に新エネルギー自動車等の生産基地を建設している深圳元正能源システム有限公司を始めとする新エネルギー技術開発企業、メーカー、運営企業、金融機関の責任者らと交流した。

(27日付半島晨报A12面)

26日：「東北地区等の旧工業基地の全面的振興に関する若干の意見」公布

26日、「党中央・国務院による東北地区等の旧工業基地の全面的振興に関する若干の意見」が公布された。「意見」のうち、「構造調整の推進」、「イノベーションと創業の奨励」、「民生の保障と改善」等の5点において、大連について直接の言及がなされた。(27日付大連日報1面)

【日本関連報道】

22日：肖盛峰市長、在瀋陽日本国総領事館の石塚英樹総領事と会見

22日、肖盛峰大連市長は市政府貴賓室にて今回新たに着任した在瀋陽日本国総領事館の石塚英樹総領事一行と会見した。(23日付大連日報1面)

北大橋、修復作業を終え30日から通行再開

北九州市と大連市の友好都市関係の象徴として1987年に建設された北大橋は、昨年末からの修復工事を終え、30日午前零時から通行が再開される予定。

(27日付大連日報1面)

「尺八演奏家・三橋貴風演奏会」、5月21日に人民文化クラブにて開催

大連市政府が主催し、大連市中日友好協会が開催を請け負った尺八演奏家・三橋貴風氏による演奏会が、5月21日に大連人民文化クラブにて開催される予定。(27日付大連晩報B1面)

(注) 4月23日～4月29日の大連日報、半島晨报、大連晩報、新商報の記事をもとに作成。